

2018年度 第1回二次電池部会を開催

2018年10月18日、白澤部会長(古河電池)を議長に、2018年度第1回二次電池部会を開催した。部会長より会議に先立ち「BAJ競争法コンプライアンス・ルール」に則り議事運営を行う宣言がなされた。続いて、部会長及び専務理事より挨拶があった。



れる。またシンクタンクなどは電装系の充実・増加に伴い48V系も今後伸長するとみている。中国、アメリカ、欧州など政策的にEVを強化する動きがあり、国内でも材料メーカーや産総研など次世代技術開発も活発である。このような中BAJ二次電池第二部会に、駆動用車載LIB委員会を設立し自動車工業会との連携の窓口が備わった。鉛電池では、国内海外とも現在ISS化が進んでいる。二次電池部会としてもこれらの技術発展をサポートしながら、国内外の二次電池事業の発展に寄与していきたいと思っている。よろしく願いたい。

1. 白澤部会長挨拶

米中の貿易摩擦激化、為替相場の変動、鉛の価格相場が安値にシフトするなど変化が激しい。今後も経済動向を注視しながら鉛電池事業を進めていく必要がある。パーゼル法や廃掃法の改正により、韓国への廃バッテリー輸出が規制され、8月は前月比で半減となっている。10月以降も認可が下りておらず、廃バッテリーの国内流通量が増加するとみているが、東南アジアに流れるのではとの懸念もあり、今後の動向については注意が必要である。

駆動用の電池について、リチウムイオン電池はEVや周辺技術の改良と相俟ってますます増加すると思わ



2. 清水専務理事挨拶

①KBIA（韓国の電池工業会）への訪問関連

韓国ではリチウム電池のリサイクルの他、リユースも結構積極的に進めていた。EV用電池をESSにリユースするもので、国の補助金対象のものをKBIAが保証しながら進める構図でかなり強制的に行っている印象であった。

②CETEC JAPAN 2018関連

今年のCETECは、自動車とか電気とかではなく、“つながる”をキーワードに幅広く企業が参画している。IoTが進めば、必ず電池の出番があると考えている。これら変化をチャンスと捉えて対応していく必要がある。

③31年度の予算関連

経済産業省31年度概算要求では、『革新的蓄電池技術により再エネを最大限活用する』として301億円計上し、全固体蓄電池の次世代型車載蓄電池の技術開発、残存容量や評価技術に関するものなど次世代技術開発に関するものと中古車載電池から定置型蓄電池のリユース技術の開発に関するものである。

3. 共通総合委員会及び各委員会からの活動報告と活動計画

1) 広報総合委員会

委員会:4月から本部会開催まで7回開催

(1)キャンペーン・PR活動

今年から新しく「道具」を加えて”みらいのでんち・どうぐアイデアコンテスト”として開催。その他、啓発キャンペーン、手づくり電池教室、電池エネルギー体験教室、自動車バッテリーの定期点検記事掲載の説明があった。

(2)情報発信

でんちフェスタ用パネルと『WE LOVE DENCHI』の作成、ホームページの修正、機関紙「でんち」の発行状況に関する報告があった。

(3)今後の活動予定

定例の委員会・各種イベントの開催予定等の報告。

2) 国際環境規制総合委員会

委員会:4月から本部会開催まで5回開催

・欧州・北米・アジア・中南米の各タスクチームで活動。
・冊子「世界の電池環境規制の状況」の改版本年5月完成。会員会社に配布。

地域別状況 (1) 欧州

2017年10月の「欧州電池アライアンス (EBA)」に

関連し、本年5月に「電池に関する戦略的アクションプラン」を公表。欧州「バッテリー・エコシステム」構築に向けて動き出した。ELV指令、廃電池指令、WEEE指令の状況報告があった。各国国内法整備は、2020年7月までに整備・発行させ、欧州委員会への報告義務を負う。

地域別状況 (2) 北米

「より安全な消費者向け製品」(SPC) 規制として7製品カテゴリーを特定した。鉛蓄電池が含まれる。

地域別状況 (3) アジア

ニュージーランドでボタン電池使用製品に関する安全政策文書公表につき状況報告があった。

地域別状況 (4) 中南米

ブラジル版RoHSを検討中。ドラフトが公表された。

活動計画:国際電池リサイクル会議 (9月) 参加。富山市エコタウンリサイクル施設見学 (10月) とも実施済。

3) 自動車用鉛電池リサイクル委員会

自動車用鉛電池リサイクル委員会は、SBRAリサイクル委員会との合同開催。

・排出者事業者登録件数: 8575件 (2018年9月末) 36件増加 (2018年3月末比)

カーディーラー、タイヤ店など上位を占め、その構成はほとんど変化していない。

・回収量および解体量: 上期 (2018年4月-9月分) 回収量4440t、解体量4429t

中間点ではあるが、昨年と比べて、少し少ない傾向。有価取引が引き続き多いためと思われるが、価格が崩れた際などの不法投棄防止のセーフティーネットとしての位置づけもあり、しっかりと維持継続していく必要があると認識している。

・韓国向けの廃バッテリーの輸出は減少傾向にある。9371t/6月→5770t/8月、最新情報では9月は2886tとなっている。SBRAの回収システムへの影響について今後注視していきたい。

・SBRAの委託先監査について、昨年に引き続き本年度も実施予定。

4) 技術委員会

1.開催計画と実績は上期3回実施。(5/31、8/3、9/18)。
2.主な活動テーマの進捗として、以下審議状況等の報告があった。

①IEC関係 60095 (始動用鉛)、62902 (識別表示)、62973 (Railway applications)、63193 (lightweight vehicles and equipment)

②JIS関係 D5301(始動用鉛蓄電池)、D5302(二輪自動車用鉛蓄電池)、D530x(アイドリングストップ車用鉛蓄電池)、C8701(可搬鉛蓄電池)、C8704(据置鉛蓄電池)

③SBA規格 S0403(鉛蓄電池)、S0405(二次電池用語)。

3.重要テーマとして以下の報告があった。

- 1) 自動車用・二輪車用鉛電池IEC規格改定・新規制定対応について、スケジュール等確認。
- 2) 電池種類識別記号表示 IEC62902の進捗状況について報告があった。
- 3) LIGHTWEIGHT VEHICLES IEC63193について、当初電動バイク/自転車用鉛として提案されたものであるが、その後スイスから新たな提案がありゴルフカートなど範囲が拡大されており今後注意をしてみていく必要がある。具体的には、この9月に国際電池規格ワーキングGを立ち上げ対応する予定。
- 4) EUROBAT/JAMA/BAJ3者会議(東京開催)について、EUROBATのELV規制等について、3者で本年10月10日に会談実施。

5) PL委員会

「自動車用電池爆発事故防止の啓発活動、及び関連製品の製品安全確保」の活動状況

- ・全日本トラック協会、東京都トラック協会への報告 6月実施済(本年度計画完了)
- ・「蓄電池の安全確保のための表示ガイドライン」の5年に1回の改正の報告があった。
- ・啓発資料の作成、BAJのHPの改正の報告があった。
- ・委員会開催状況報告があった。PL委員会年7回計画内3回実施済。(自)技サ分科会との合同会議年2回計画の内1回実施済。
- ・国土交通省への報告 6月実施済。次回12月予定。
- ・爆発事故調査データ解析状況について以下の報告があった。

爆発件数は、全体では15年度 - 17年度の3年間の集計結果が報告された。11年度から見ると減少しているが、ここ3年でみると横ばいで大きな変化はない。用途別で見ると従来ワーストであったトラックが横ばいなのに対し、乗用車は増加傾向でトラックを抜きワーストとなった。使われ方の変化の影響と考えている。

- ・国土交通省へは、増加傾向にある乗用車用途に関して調査中であるとの報告を行った。
- ・秋の全国交通安全運動イベント(佐野SA、海ほたるPAに)参加した。

PL委員会としての課題として、以下情報共有のた

めの報告があった。

①無補水型バッテリーの急速充電に関する啓発活動について。

②”爆発”のワードについて、別の用語を使用することについて。

下期 活動計画4項目の報告があった。

6) 産業用電池リサイクル委員会

- ・広域認定変更申請において、日立バッテリー販売サービス(株)様の社長交代申請受理完了
- ・その他マニュアルの整備等は例年通り実施
- ・上期の活動実績は、4月以降毎月開催の6回開催。
- ・各社のご努力もあり実務の広域認定のご理解も高くなっていると思われ、広域回収量全体では増加。一方、小型制御弁式鉛電池回収量は横ばいから若干減少傾向。近年販売量も減っているため、今後回収量が増加するという事は難しいと思われる。

7) 環境委員会

以下の懸念される動きに対して調査検討した。

- ①米国加州の「より安全な消費者向け製品」規則(SCPR)の規制対象に鉛電池を追加する検討が行われているとの情報を入手。
- ②欧州で、鉛が許可対象物質に追加されるのではないかとこのことに関して、その影響がないことを確認した。
- ③欧州電池指令改正に関して、日本製鉛電池に対する影響はない。

以上

スポーツニッポンに、バッテリーの点検と交換時期に関する記事を掲載

スポーツニッポン新聞社の協力のもと、11月24日(土)発売予定の「スポーツニッポン」に、自動車バッテリーの点検の重要性と早めのバッテリー交換の重要性について、自動車の一般ユーザーの方々に注意喚起を促す記事を掲載する。

電池工業会は、「バッテリー」繋がり、同社が主催する「プロ野球最優秀バッテリー賞」の開催に、創設以来、協力している。

自動車バッテリー交換の目安は購入後約2~3年 こまめな点検と早めの交換を

1年の中で冬と夏に多い「バッテリー上がり」

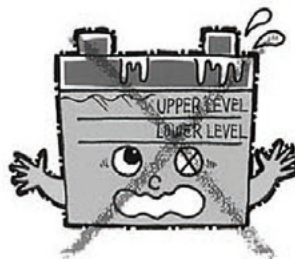
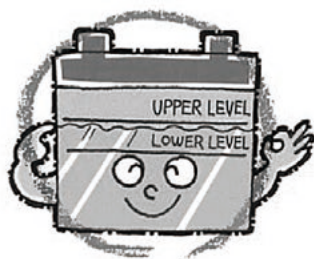
我

夏の身近にある「電池」に関してさまざまな活動を行っている一般社団法人電池工業会は、自動車バッテリーの点検や交換に関する注意を促している。自動車に搭載されているバッテリーについて

てJAF(日本自動車連盟)の統計では、1年の中で冬と夏に「バッテリー上がり」が多いことが確認されている。JAFロードサービスの出動件数の3割以上が「バッテリー上がり」の報告がある。

夏のエアコン使用などにより酷使したバッテリーは寒い時期には弱りやすく、「バッテリー上がり」などのトラブルが生じやすい。トラブルに合わないためにはこまめな点検と早めの交換が必要。自動車バッテリーの交換の目安は、約2~3年だ。詳しくは、電池工業会のホームページへ。

<http://www.baj.or.jp/>



平成30年 10月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項	
特別会議、他	10日(水)	第218回 講習実施委員会	大阪府にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。	
	12日(金)	広報総合委員会	でんちフェスタの最終確認、誤飲防止啓発記事の校正、みらいのでんち・どうぐアイデアコンテストの作品審査、でんちは正しく使いましょうPR記事原稿の校正、他。	
	22日(月)	統計総合委員会	統計様式の見直し。	
	30日(火)	新種電池研究会	新種電池に関する公知・公開情報の紹介。	
二次電池部会	5日(金)	自動車鉛分科会	JISD5301「始動用鉛蓄電池」規格の改正審議。	
	10日(水)	EUROBAT 交流会	環境規制に関する情報交換。	
	11日(木)	産業電池技術サービス分科会	SBA G0606改正審議、他。	
	12日(金)	電気車鉛分科会	「蓄電池の安全確保の為の表示ガイドライン」の改正審議、他。	
	12日(金)	充電器分科会	SBA G 0901、0902、「蓄電池の安全確保のための表示ガイドライン」の改正審議、他。	
	15日(月)	IEC TC21 WG2会議(韓国 プサン)	IEC60095-1,-6,-7規格の審議。	
	17日(水)	据置鉛分科会	JISC8704「据置鉛蓄電池」規格の改正審議。	
	18日(木)	二次電池部会	各委員会からの活動報告、審議。	
	19日(金)	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。	
	23日(火)	小形鉛分科会	SBA G0202規格の改正審議。	
	30日(火)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。	
	二次電池第2部会	2日(火)・3日(水)	IEEE P1725会議 (米国 レッドモンド)	IEEE 1725規格 改訂審議。
		10日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
11日(木)		蓄電システムWG	国土交通省公共建築工事標準仕様書の検討。	
12日(金)		法規WG	蓄電池の規制検討。	
14日(日)・15日(月)		IEC TC21 WG10 PT62485会議 (韓国 プサン)	IEC62485-5,-6の3rd CD 審議。	
15日(月)～17日(水)		IECTC21A Plenary & WG会議 (韓国 プサン)	SC21A WG1～WG6 規格 審議。	
18日(木)・19日(金)		IEC SC21A PT63115会議 (韓国 プサン)	IEC63115-2 1st CD 審議。	
22日(月)		国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。	
24日(水)		非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定。	
25日(木)		ニカド・ニッケル水素分科会	IEC、JIS規格の審議。	
26日(金)		再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。	
26日(金)		国際電池規格委員会	IEC IEEEの対応、審議。	
29日(月)		リチウム二次分科会	IEC規格対応審議。	
30日(火)		臨時)国際電池輸送委員会	輸送の手引書改定。	
30日(火)		環境規格分科会	IEC規格対応、審議。	
31日(水)		産業用ニッケル水素分科会	IEC規格対応、審議。	
一次電池部会		11日(木)	規格小委員会	IEC/TC35 ワルシャワ会議報告(IEC60086-1、-2、-3、-5及びIEC60086-6)、他。
	11日(木)	リチウム小委員会	IEC/TC35 ワルシャワ会議報告(IEC60086-4、IEC62281)、他。	
	11日(木)	リチウムコイン二次電池国際規格WG	IEC61960-4 CD2の釜山会議資料最終確認。	
	19日(金)	消費者委員会	コイン形電池誤飲防止パッケージの調査、支援物資対応。	
	23日(火)	誤飲対策セルWG	IEC/TC35 ワルシャワ会議報告及び今後のWGの活動について。	
	23日(火)	誤飲対策パッケージWG	IEC/TC35 ワルシャワ会議報告及び今後のWGの活動について。	
	25日(木)	環境規格WG	IEC/TC35 ワルシャワ会議報告(IEC 60086-6 CDのコメント審議)及びIEC 60086-6 CDV Draftの確認。	
	26日(金)	資材委員会	電池主要材料5アイテムの市場調査、下請法に関する意見交換。	

8月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2018年8月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	402,235	73,588	102%	104%	3,109,941	619,906	101%	110%
一次電池計	238,444	7,898	102%	96%	1,830,867	60,912	100%	97%
酸化銀電池	66,625	953	88%	77%	507,741	7,531	88%	79%
アルカリ乾電池計	86,336	3,684	109%	98%	656,021	27,866	109%	101%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	11,689	944	93%	91%	88,509	7,162	93%	97%
リチウム電池	85,483	3,261	110%	102%	667,105	25,515	101%	100%
二次電池計	163,791	65,690	101%	106%	1,279,074	558,994	103%	111%
鉛電池計	2,379	14,617	101%	108%	20,653	123,789	100%	106%
自動車用	1,825	9,675	104%	111%	15,710	80,102	101%	108%
その他の鉛蓄電池	554	4,942	93%	103%	4,943	43,687	96%	101%
アルカリ蓄電池計	41,847	14,698	102%	111%	345,798	121,023	101%	103%
ニッケル水素	38,806	14,130	104%	115%	315,826	115,174	101%	105%
その他のアルカリ蓄電池	3,041	568	81%	61%	29,972	5,849	95%	79%
リチウムイオン蓄電池計	119,565	36,375	101%	102%	912,623	314,182	104%	117%
車載用	85,210	27,474	113%	116%	578,179	218,836	113%	127%
その他	34,355	8,901	80%	76%	334,444	95,346	93%	100%

8月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2018年8月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	230,650	49,267	98%	105%	1,740,373	392,517	97%	115%
一次電池計	98,474	2,586	94%	97%	747,502	20,443	92%	97%
マンガン	0	0	—	—	28	1	1906%	19%
アルカリ	1,196	35	25%	39%	25,714	539	92%	94%
酸化銀	46,565	576	84%	93%	324,242	4,331	83%	93%
リチウム	50,712	1,740	113%	96%	396,980	13,978	101%	93%
空気亜鉛	0	0	—	—	531	6	77%	76%
その他の一次	0	234	99%	184%	6	1,589	65%	201%
二次電池計	132,176	46,682	101%	105%	992,871	372,074	101%	116%
鉛蓄電池	181	1,270	96%	96%	1,440	11,729	103%	116%
ニカド	1,123	163	90%	122%	12,661	1,363	92%	98%
ニッケル鉄	0	0	—	—	1	3	3061%	405%
ニッケル水素	10,826	8,275	80%	134%	102,714	63,975	95%	119%
リチウムイオン	109,692	24,176	102%	97%	803,537	195,212	100%	102%
その他の二次	10,354	12,798	133%	110%	72,519	99,792	122%	154%
全電池合計（輸 入）	109,767	14,365	109%	104%	917,481	126,094	101%	120%
一次電池計	102,243	1,720	110%	104%	850,622	14,347	101%	100%
マンガン	13,583	146	142%	105%	104,713	1,088	101%	93%
アルカリボタン	1,131	6	131%	129%	19,484	142	100%	95%
アルカリその他	73,599	980	110%	108%	585,515	7,474	100%	93%
酸化銀	164	6	79%	103%	1,444	49	157%	152%
リチウム	9,175	489	90%	99%	96,211	4,295	97%	107%
空気亜鉛	4,590	88	93%	111%	43,038	756	113%	109%
その他の一次	0	6	1%	25%	217	542	147%	196%
二次電池計	7,525	12,644	94%	104%	66,859	111,747	109%	123%
鉛蓄電池	596	2,835	89%	101%	5,147	24,029	95%	102%
ニカド	55	138	101%	80%	469	1,202	79%	95%
ニッケル鉄	1	1	—	—	1	1	8%	16%
ニッケル水素	1,600	380	86%	109%	15,146	3,173	99%	98%
リチウムイオン	5,191	8,436	99%	113%	45,134	74,617	114%	138%
その他の二次	82	855	61%	66%	962	8,726	130%	98%